

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成29年11月28日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	上田周二
レジメン名	DBd(4~8コース目)【計5回】		
疾患名	多発性骨髄腫	適応の備考	
適応分類	地固め療法		
1コース日数	21 日間	総コース数	5 コース
			催吐性リスク 最少度
抗がん剤投与量・投与日	ベルケイド1.3mg/m ² day1,4,8,11、ダラザレックス16mg/kg day1、レナデックス day2,4,5,8,9,11,12		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート6.6mg	3 本 / body		●																				
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分				●				●			●										
	点滴静注	ルートキープ用	/																						
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●			●				●			●										
	点滴静注	ベルケイド注	1.3 mg / m ²	15 分	●			●				●			●										
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	ダラザレックス注	16 mg / kg	下記	●																				
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●			●				●			●										
	点滴静注		/																						
	経口投与	レナデックス錠4mg 1日1回	20 mg / body			●		●	●			●	●		●	●									
	経口投与	ポラミン錠2mg ジクロフェナクNa錠25mg	1 錠 / body 1 錠 / body		●																				
		ダラザレックス注投与の1~3時間前																							

【投与上の注意】

ダラザレックス：前投薬としてポラミン(2)1錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。

ダラザレックス：2回目以降はinfusion reaction が初回投与開始3時間以内になれば、希釈の生食を500mLとすることができる。

ダラザレックス：3回目以降は、初回と2回目投与時に最終速度が100mL/h以上でinfusion reaction がなければ、100mL/h × 1hから開始し、150mL/h × 1h、200mL/hとする。

ダラザレックス：投与時はインラインフィルター(0.2 μ m)を使用すること。

ベルケイドは皮下注も可。

